



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月30日

上場会社名 日本アビオニクス株式会社

上場取引所 東

コード番号 6946 URL <http://www.avio.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 竹内 正人

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部長 (氏名) 榎本 実

TEL 03-5436-0600

四半期報告書提出予定日 2019年11月1日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	7,708	1.1	356		376		397	
2019年3月期第2四半期	7,794	12.6	597		626		804	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 343百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 792百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	140.91	
2019年3月期第2四半期	284.94	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	24,059	8,686	36.1
2019年3月期	26,492	9,029	34.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 8,686百万円 2019年3月期 9,029百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後掲「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,800	1.9	200		150		100	352.0	35.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	2,830,000 株	2019年3月期	2,830,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	6,052 株	2019年3月期	5,982 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	2,823,987 株	2019年3月期2Q	2,824,158 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
第1種優先株式					
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00			
2020年3月期(予想)			—	0.00	0.00
第2種優先株式					
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00			
2020年3月期(予想)			—	0.00	0.00

(参考) 1. 第1種優先株式配当金の額は、以下の算式に従い算出される金額であります。

ただし、計算の結果、第1種優先株式配当金の額が20円を超える場合は20円となります。

第1種優先株式配当金=1,000円×(日本円TIBOR+1.0%)

※ 日本円TIBOR・・・毎年4月1日現在における日本円のトーキョー・インター・バンク・オフ
アード・レート(6ヶ月物)として全国銀行協会によって公表される数値

2. 第2種優先株式配当金の額は、以下の算式に従い算出される金額であります。

ただし、計算の結果、第2種優先株式配当金の額が20円を超える場合は20円となります。

第2種優先株式配当金=1,000円×(日本円TIBOR+1.25%)

※ 日本円TIBOR・・・毎年10月1日現在における日本円のトーキョー・インター・バンク・オフ
アード・レート(6ヶ月物)として全国銀行協会によって公表される数値

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報	8
(1) 受注高及び受注残高	8
(2) 売上高	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の緩やかな改善が続くものの、アジア及びEU向けの輸出を中心に弱さが長引いており、また、米中貿易摩擦の影響等に伴う世界経済の停滞懸念などにより、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような事業環境において、当第2四半期連結累計期間における売上高は、情報システムは増加したものの電子機器の減少及び前連結会計年度においてプリント配線板（前年同期売上高3億20百万円）が事業終息したことから、前年同期比86百万円減少の77億8百万円（前年同期比1.1%減）となりました。

損益に関しましては、売上高は減少したものの、原価改善及び諸経費削減に努めたことから、営業損益は前年同期比2億40百万円改善の3億56百万円の損失、経常損益は前年同期比2億50百万円改善の3億76百万円の損失となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損益は、営業損益及び経常損益の改善に加え、法人税等が前年同期に比べ減少したことから、前年同期比4億6百万円改善の3億97百万円の損失となりました。

セグメント別の状況

情報システム

情報システムは、防衛省の国内調達低調に推移している影響がある中で、表示・音響関連装置が堅調に推移し、売上高は増加しました。セグメント損益は、売上高の増加、原価低減及び前年同期にあった不採算案件が減少したことから改善しました。

この部門の当期の売上高は、56億38百万円（前年同期比23.4%増）となりました。セグメント損益は、前年同期比3億34百万円改善の1億3百万円の損失となりました。

電子機器

電子機器は、赤外線機器の売上高がほぼ横ばいに推移したものの、接合機器は、スマートフォン市場の低迷継続により情報機器向けの売上高が減少しました。セグメント損益は諸経費の削減に努めたものの、売上高の減少により悪化しました。

この部門の当期の売上高は、20億69百万円（前年同期比28.8%減）となりました。セグメント損益は、前年同期比1億69百万円悪化の2億53百万円の損失となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来報告セグメントとして開示しておりました「プリント配線板」は、前連結会計年度における事業終息に伴い、廃止しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ24億32百万円減少し、240億59百万円となりました。これは主に現金及び預金が12億56百万円、受取手形及び売掛金が14億72百万円減少したためであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ20億89百万円減少し、153億73百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が7億76百万円減少したためであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億43百万円減少し、86億86百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失を3億97百万円計上したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年4月26日に公表いたしました業績予想に修正はありません。

なお、当社グループの売上高は季節的変動によって下期に偏ることから、通期の業績予想に対し第2四半期連結累計期間の売上高及び利益の割合が低くなっております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,217	1,960
受取手形及び売掛金	11,753	10,280
たな卸資産	3,813	4,086
その他	190	156
流動資産合計	18,974	16,483
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	640	616
土地	3,851	3,851
その他（純額）	180	212
有形固定資産合計	4,672	4,681
無形固定資産	109	100
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	2,628	2,687
その他	136	137
貸倒引当金	△29	△29
投資その他の資産合計	2,734	2,794
固定資産合計	7,517	7,576
資産合計	26,492	24,059

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,553	2,777
短期借入金	2,700	3,100
未払法人税等	71	55
賞与引当金	362	628
工事損失引当金	6	13
製品保証引当金	88	92
事業移管損失引当金	82	68
その他	2,736	1,468
流動負債合計	9,600	8,202
固定負債		
長期借入金	2,640	2,200
繰延税金負債	516	549
再評価に係る繰延税金負債	994	994
退職給付に係る負債	3,430	3,401
その他	280	24
固定負債合計	7,862	7,170
負債合計	17,462	15,373
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,895	5,895
利益剰余金	348	△49
自己株式	△15	△15
株主資本合計	6,229	5,831
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
土地再評価差額金	2,253	2,253
退職給付に係る調整累計額	546	602
その他の包括利益累計額合計	2,800	2,855
純資産合計	9,029	8,686
負債純資産合計	26,492	24,059

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	7,794	7,708
売上原価	6,323	6,080
売上総利益	1,471	1,627
販売費及び一般管理費	2,068	1,984
営業損失(△)	△597	△356
営業外収益		
受取手数料	2	2
技術指導料	2	4
その他	39	3
営業外収益合計	44	10
営業外費用		
支払利息	31	25
その他	42	4
営業外費用合計	74	30
経常損失(△)	△626	△376
特別損失		
減損損失	—	1
固定資産除却損	19	0
事務所移転費用	35	—
特別損失合計	55	1
税金等調整前四半期純損失(△)	△682	△378
法人税等	122	19
四半期純損失(△)	△804	△397
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△804	△397

（四半期連結包括利益計算書）
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）
四半期純損失（△）	△804	△397
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△0
退職給付に係る調整額	12	55
その他の包括利益合計	12	54
四半期包括利益	△792	△343
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△792	△343
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間（自2018年4月1日至2018年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	情報システム	電子機器	プリント配線板	合計
売上高				
外部顧客への売上高	4,568	2,905	320	7,794
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	4,568	2,905	320	7,794
セグメント利益（営業利益）	△437	△83	△75	△597

(注) セグメント利益合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自2019年4月1日至2019年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	情報システム	電子機器	合計
売上高			
外部顧客への売上高	5,638	2,069	7,708
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	5,638	2,069	7,708
セグメント利益（営業利益）	△103	△253	△356

(注) セグメント利益合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来報告セグメントとして開示しておりました「プリント配線板」は、前連結会計年度における事業終息に伴い、廃止しております。

3. 補足情報

(1) 受注高及び受注残高

(単位：百万円)

	前年同四半期 2019年3月期 第2四半期累計		当四半期 2020年3月期 第2四半期累計		(参考) 2019年3月期	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
情報システム	4,130	7,620	4,341	6,573	11,452	7,869
電子機器	2,343	1,121	2,106	1,193	4,972	1,156
プリント配線板	—	—	—	—	—	—
合計	6,473	8,741	6,447	7,766	16,425	9,026

(2) 売上高

(単位：百万円)

	前年同四半期 2019年3月期 第2四半期累計		当四半期 2020年3月期 第2四半期累計		(参考) 2019年3月期	
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
情報システム	4,568	58.6%	5,638	73.1%	11,641	66.7%
電子機器	2,905	37.3%	2,069	26.9%	5,499	31.5%
プリント配線板	320	4.1%	—	—	320	1.8%
合計	7,794	100%	7,708	100%	17,460	100%

(注) 海外売上高は以下のとおりであり、内数であります。

(単位：百万円)

	前年同四半期 2019年3月期 第2四半期累計		当四半期 2020年3月期 第2四半期累計		(参考) 2019年3月期	
	海外売上高		海外売上高		海外売上高	
情報システム	26		153		134	
電子機器	1,322		579		2,180	
プリント配線板	57		—		57	
合計	1,405		733		2,372	
海外売上高の連結売上高 に占める割合	18.0%		9.5%		13.6%	